

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋高校美術・書道部展事業				開始年度	20年度	
基本目標	芸術文化の振興				終了年度	20年度	
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼	評価者	田中 隆吉
20年度決算	0	千円	21年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	144 千円		21年度人件費	146 千円		事業従事者数	0.02 人 0.02 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。
事業の内容	高鍋高校生美術部・書道部及び芸術選沢生の作品展示

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	観覧者数	目標値	500	500	500
		実績値	393	422	
		達成率	78.6%	84.4%	
		目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	広報活動数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地元高校の芸術専攻生徒の成果発表の場となっている。情操教育に寄与し、将来的には入館や自主的な美術館使用に繋がっていくと思われる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	高鍋高校生と保護者の観覧がほとんどであるが、広報のさらなる充実を図り、一般の観覧者を増加させたい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	多くの美術部員・書道部員が展示作業及び撤収を行うため、短時間の作業時間で済む。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	展示考案、展示作業、撤収まですべて高校生が行っている。

事務事業名	高鍋高校美術・書道部展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	地元の高校生の発表の場として提供し、高校生の鑑賞も多い。さらに充実した展覧会になるよう担当者とも連携していきたい。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
			現状維持					
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎高鍋高校以外の学校との連携も検討してはどうか。
	コスト	現状維持	